

特殊詐欺被害の「実態」に迫る！

令和2年上半期の県内統計

被害状況

- 認知件数 **15件** (前年同期比+1件)
- 被害総額 **約7,214万円** (前年同期比-約8,751万円)

被害の特徴

- 高齢者(65歳以上)の割合 **6割**
- 架空料金請求詐欺が最多 **9件**

被害者の意識調査

(協力が得られた12人に調査)

被害に遭う前

- 「自分はだまされなかったと思っていた」 **4人**
- 「詐欺について考えたことがなかった」 **4人**

約7割は警戒意識が低かったことが判明



犯人に対して

- 「不審点には気付かなかった」 **8人**
- 「半信半疑であった」 **4人**

半信半疑であっても、「後日返金すると言われた」「相手が実在する大手の会社名を名乗った」等の理由でだまされています。



※上記の詳細は長崎県警察HP「令和2年上半期特殊詐欺実態」を御覧ください。

コンビニ等で電子マネーカードを購入させ、電子マネーカードの利用権をだまし取る手口が多発しています！

電子マネーカードで支払いを求められた場合は詐欺を疑い、家族や警察に相談しましょう！

